

令和6年度



# 幼稚園だより 11月号

文京区立小日向台町幼稚園

## 子どもの力が育つ、〇〇の秋

副園長 川畑 優

園庭のサツマイモが収穫の時期を迎え、秋の深まりを感じる季節となりました。子どもたちは、鬼遊びをしたり「この虫、何だろう」と秋の虫を見付けたりして、元気いっぱい遊んでいます。

10月6日(日)の運動会では、開催日が雨で順延し、また天候に応じてプログラムを変更した中で、たくさんの声援と拍手をありがとうございました。その後の感想で、お子さんの成長や園への温かい言葉、今後の改善点等をお寄せくださり、改めて感謝いたします。

運動会後の遊びの中で、子どもたちの育ちを感じる場面がありました。

年中組がリレーやパラバルーンを年長組に教えてもらい「もっとバルーンをやってみたい」とさらに意欲的に運動遊びに取り組んでいたこと。また年少組が、年中・年長組の表現を真似して、何度も音楽に合わせて踊っていたことなどです。そして年長組は、連日大活躍で「たんぼぼさんには、簡単バージョンにしてあげるね」「踊るのが上手だよ、剣も私たちのにそっくりだね」と関わっていました。**運動会のねらいのひとつく自分の力を発揮し、体を動かしたり表現したりする楽しさを味わう**を各学年が達成し、その経験を糧として、新しい運動遊びにも挑戦する姿が見られます。子どもたちの成長に嬉しさを感じるとともに、そっとエールを送っています。

また本園の「秋」ならではの経験のひとつに、園内の畑でのサツマイモの収穫があります。年長児が1学期から育てて、先日収穫しました。葉は茂り、つるはとても長く、子どもたちからは自然と「うんとこしょ、どっこいしょ」と掛け声が出てきました。「土の中はどうなっているのだろう」という興味や関心の下、子どもたちは全身を使ってつるを引く、掘ったサツマイモの形や重さを比べるなど、秋の自然からたくさんのことを感じ取っていました。その様子を見た年中組は、つるを腰に巻き付けて尾に見立てたり、サツマイモを紙で作ったりして、秋のお裾分けをいただいで遊んでいます。

どちらの活動でも、教師は「跳ぶ、くぐるなどの動きを経験できるように」「秋の自然に親しめるように」などの願いをもって教材等を準備してきました。今後も、育てたい子どもの姿や身に付けたい力を教師が見通して、遊びを通した指導を行ってまいります。

今月号では幼稚園の「スポーツの秋」と「収穫の秋」についてお伝えしました。ご家庭でも、秋に関する絵本を一緒に見たり木の実やきれいな色の葉を探したりするなど、いろいろな秋をぜひお楽しみください。

